

(1頁の続き)

「第63回技能五輪全国大会」に、在校生1名が電気溶接職種に出場し、入賞敢闘賞(第4位)を受賞しました。また、在校

には至りませんでしたが、時間内に課題を作製・提出することができました。12月の入学試験選抜では69名の合格者を出しました。いずれも、学力面のみならず、モノづくりに興味を持ち、将来の同窓生として配属後も活躍できる人間性の高い生徒を、じっくり時間をかけて多面評価しました。なお、そのうちの女子生徒の合格者数は、これまでの1学年数で最多の10名となりま

昨年の新年ご挨拶で、「これからの中学校の役割も、これまでの『匠』の育成に加えて、『グローバルに対応できデジタル化した匠』の育成をめざす」、「2025年は、その新たな取組みの元年になるはず」と申し上げました。コンテンツ作成には本社モノづくり戦略本部の全面的なバックアップ、資金面でも本社のお力を借りて、いよいよ26年度入学生から、新たなカリキュラムがスタートします。

様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より日工同窓会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げ



松浦代表副会長挨拶

最後となりましたが、会員の皆様とご家族の皆様のご健勝と、本年が事り多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたしま

「福を運ぶ動物」として特別な意味を持つっています。特に縁起の良い言葉として知られているのが、「馬九行久（まくいく）。これは「物事がすべてうまくいくように」という願いを込めた言葉ですが、日専校の新カリキュラム導入の年に、これほどふさわしい言葉はありません。必ず「馬九行久

本年は「午[うま]年」です。馬は本来常に前進する動物であり、後ろを振り返らずに前へと進むその姿は、夢に向かって突き進む象徴でもあります。また、神社に奉納される「絵馬」は、もともと馬が神様の使いとされていたことに由来し、馬は「願いを届ける存在

年という節目の年でもあり、女性会員研修会を開催しました。在校生を含め21名が参加し、グループ討議を通じて職場での苦労や今後の展望について活発な意見交換が行われました。今後ますます女性会員の活躍が期待される非常に意義深い研修会となりました。さて、近年は事業の再編・デジタル化・グローバル化など、皆様の職場環境も大きく変化しております。同窓会の会員分布も、かつては発祥の地・立地地区に会員が多く在籍しておりま

の開催、宿泊を伴う第二部の実施など、同窓会の完全復活を実感しております。支部長研修会では新たな試みとして、事前アンケートの結果をもとに、悩みや課題の近い支部ごとにグループ討論を行い、従来以上に各支部の課題解決に向けた有意義な討論ができました。

振り返りますと 昨年は工口大禍以前の行事がようやく復活し、同窓会活動も活気を取り戻した一年となりました。2019年末から2023年5月の「5類」移行まで様々な活動が制限されましたが、総会後の第一部懇親会や母校日専校での支部長研修会

昨年より代表副会長を拝命し、皆様の支部行事に参加させていたゞく機会を得て、多くの会員の皆様と交流できましたこと、大変光栄に存じます。温かいご支援とご厚情に深く感謝申し上げます。

たが、事業再編による分社化等を経て現在は勝田地区の会員が多くを占めるなど、発足当初とは異なる状況となつております。

水戸支部



五味渕 真琴 (77巻)

本年度、日工同窓会は創設105周年を迎えます。大正9年の創設以来、昭和平成・令和と四つの年号を跨ぎ、長きにわたり歴史と伝統を積み重ねてまいりました。これもひとえに諸先輩方が、後輩のために繋いできた襷であり、感謝の念に堪えません。

後進を指導・教育し、職業人・社会人として社会の発展に寄与すること」であります。しかし、現代の会員の皆様の思いや勤務形態、社会情勢などを踏まえ、時代に即した活動を展開してまいりたいと考えております。

たが、事業再編による分社化等を経て現在は勝田地区の会員が多くを占めるなど、発足当初とは異なる状況となつております。

また昨年度から復活させたビル祭りについては企画・実行を進めておりましたが、開催当日の4時間前に台風9号の接近に伴う灾害・交通機関の乱れを想定して、中止の判断をさせていたただく事態になつてしましました。楽しみにされていた会員の皆様には本当に申し訳ありませんでした。

コロナ禍の影響で水戸支部としてほぼ活動停止していた期間もあり、まだまだ試行錯誤しながらの状況が続いておりますが、皆さまの温かいご支援に

（HBS） 162名（鉄道） 73名 会員总数235名で4月から活動をスタートしております。水戸支部独自の活動としては、例年通り事業所内外のクリーン清掃活動、実習生／新人歓迎会を実施して参りました。

エロナ福の影響で水戸支部としてほぼ活動停止していた期間もあり、まだまだ試行錯誤しながらの状況が続いておりますが、皆さまの温かいご支援に

支部長新年の挨拶

(2頁の続き)

支えられ、無事に一年を終えることができましたこと、改めて感謝申し上げます。

本年も、同窓生の絆を深める場を大切にしながら、楽しく交流できる機会を創出できるように活動推進してまいりたいと考えております。ぜひお気軽に行事にもご参加いただき、懐かしい時間を共有できれば幸いです。

また、母校の発展に寄与する活動、母校との連携活動も引き続き注力してまいります。皆さまの知恵や経験を活かしながら、同窓会がより意義ある存在となるよう努めてまいりますので、引き続きご支援・ご協力をお願ひ申し上げます。

2026年が皆さまにとって健康で笑顔あふれる一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

那珂支部



井坂 信孝

(76卒)

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

那珂支部は、茨城県ひたちなか市の日立ハイテク那珂地区を中心とした日立ハイテクおよびグループ会社に所属する同窓生で構成され、323名の会員（遠

隔地含む）で活動しております。

当社は、「知る力で、世界を、未来を変えていく」という企業ビジョンを掲げ、社会やお客さまに最先端の技術・製品・サービスを提供しています。ヘル

スケア分野における医用分析装置やバイオ関連製品、半導体分野における半導体製造・検査装置、さらに環境分野・材料研究などで用いられる分析・解析装置など幅広い領域で事業を展開しています。

また、2025年には国内生産拠点の強化を進め、3月に笠戸地区「新製造棟」、7月には那珂地区「たら崎サイト」を竣工し、最適配置によるさらなる発展と社会貢献をめざしています。

支部活動としては、「納涼ビール祭り」や「実習生歓迎バーベキュー」などの恒例行事に加え、職場単位や少人数グループでの懇親会にも補助を行うなど、会員同士の交流を活性化しています。今後も役員一同で知恵を出し合

い、より多くの会員に喜んでいただけ

る企画を検討してまいります。

最後になりますが、日工同窓会会員の皆様とご家族のご健勝とご多幸を心より祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

2026年が皆さまにとって健康で笑顔あふれる一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

那珂支部

謹んでおめでとうございます。

佐和支部は、茨城県ひたちなか市の日立ハイテク那珂地区を中心とした日立ハイテクおよびグループ会社に所属するAstemo（株）佐和工場の会員361名

2026年

菊池 義幸
(78卒)

「牛男の抱負」

明けましておめでとうございます。

日専校を卒業してから年男になる

し、日々モノづくりに励んでおります。

佐和支部の活動ですが、総会（4月）と納涼ビアパーティ（9月）が2大イベントとなっています。特にビア

パーティは変則勤務の方も参加しやす

いよう2週に分けて開催しており、今

年度も多数のご来賓の方々をお招きし

て各回ともに約100名の同窓生の皆さま

に参加いただき、年齢層を問わず全員

一丸となり大いに盛り上がることがで

きました。

昭和43年2月1日に支部が発足し

今年58年目を迎えます。周囲の環境は

日々変化しておりますが、諸先輩方が築いてきました縦・横の繋がりある良

き文化を後世に残せるよう、引き続き

役員含め皆で協力して活動を継続して

いきたく考えております。

最後になりますが、日工同窓会の

益々のご発展と、会員およびご家族の

皆様のご健康とご多幸を祈念いたしま

して、年頭のご挨拶とさせていただき

高屋 俊志
(82卒・神奈川)

までの間、様々な経験をさせていた

だきました。技能五輪や日工専、ま

た、職場業務に勤しみながら、消防隊や労働組合執行部など多くの苦楽

を経験してきましたが、どこの世界

でも困った時は日工同窓会の先輩・

同期・後輩に助けられてきました。

同窓会の絆が「脣身に染みる年齢に

なったなど感じています。

さて、私には高校受験を控える息

子がいます。残念ながら志望校は日

専校ではありません、パンフレット

を見せてPRしたのですが：机にか

じりつき頑張っていますが、心配性

な親心からつい口を出してしまいま

す。絶賛思春期中の息子は当然ム

スっとするのですが、ふと自分が日専校を受験した時を思い出すと、親も必死だったのだと今になつて分かります。

私の友達COPilotによる

午年は「変化を恐れず挑戦に踏み出

すパワーを秘めた年」とのことです。

息子にそんな背中を見せられるよう

私自身も頑張りたいと思います。皆

様にとつても、挑戦が実を結ぶ年に

なることを祈念します。

「新年の抱負」

田邊 祿行
(82卒・中条)

明けましておめでとうございます。
本年は48を数える年となり、改めて振り返る歳と一年の早さに驚かされるばかりです。まだまだ若いつもりでしたが、職場の新人は長女より年下の世代へと代わり始めました。

これまで仕事を最優先にしてきた結果、家族には負担をかけてしまい、十分に向き合えなかつたのではないかと感じことがあります。特に、忙しさを理由に家族そろつて食事をする機会が減つていたことを反省しています。

そこで今年の抱負は「家族との食事時間を増やす」ことにしました。食卓は家族の絆を深める大切な場所。子供が手を離れるまで、あと数年間。平日は難しいこともあります、休日には日々の出来事を語り合えるひとときを大切にしたいです。仕事ももちろん頑張りつつ、家族との時間を充実させる年にしたいと思っています。

最後になりますが、同窓会員の皆様にとって実り多き素晴らしい年となりますようご祈念申し上げ、新年の抱負とさせていただきます。

小林 売輔
(82卒・日高)

明けましておめでとうございます。月日が経つのは早く、年男の寄稿依頼を受けて48歳を迎える事を改めて意識して「年を取つたなあ。」と実感しております。社内外に約7年間出向し製造・検査・品証と経験して、現在はプロテリアル茨城工場に従事しています。職場環境が大きく変化してきた中で無事に過ごせたのは同窓会員をはじめ周囲の方々の支えがあつてこそだと感謝しております。

窓会員をはじめ周囲の方々の支えがついて天命を知り（知命）という一節が有ります。これは50歳で自分の運命を理解するという意味ですが、現代では自分の強みと限界を理解する・健康と心の安定を優先する、とも考えられるそうです。精神面の若さに対し無理の効かない体になりつつありますが、未だ人生の折り返し地点と考え、適度な運動・食事という基本を大切にして健康に過ごしたいと思います。

最後になりますが、同窓会員の皆様にとって実り多き素晴らしい年となりますようご祈念申し上げ、新年の抱負とさせていただきます。

神永 雅史
(94卒・日立)

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。私が日専校を卒業し原子力製造部に配属されてから18年という月日が経ちました。ここまで無事に会社生活を送つてこられたのも職場の方々や、日専校時代の同級生、家族の支えがあつてこそだと感じております。

新年の抱負としましては色々な事についてこそだと感謝しております。さて、新年の抱負ですが「健康を考える」です。孔子の論語に「五十而知天命」といふ言葉があります。もう一つは、「科技高日立野球部でマスターーズ甲子園に出場」です。我々野球部にとって「聖地甲子園」でプレーするというのは夢であり、憧れであります。大人になつてからもう一度甲子園をめざし、野球部の先輩方、後輩たちを巻き込んで実現させていきたいと思っておりまます。飯塚監督、その時はご協力の程よろしくお願ひいたします。

最後になりますが、会員の皆様の健康と飛躍、そして日工同窓会のさらなる発展を祈念申し上げ新年の抱負とさせていただきます。

渡邊 優喜
(94卒・水戸)

明けましておめでとうございます。この度、94回卒を代表し、このように機会をいただいたことを大変光榮に思います。日専校を卒業して水戸事業所（現日立ビルシステム）に配属され、これまで無事にやつてこられたのも職場の上司、同僚、日工同窓会の皆様の支えがあつてこそだと感謝しております。さて今年の抱負ですが、「挑戦」というテーマを掲げたいと思います。昨年は周りのサポートもあり多くのことを経験させていただきました。そういったことにありがたみを感じる反面、「正直やりたくないなあ、面倒だな」と思つことも多々ありました。1つの経験がいろいろな場面で活き、自身が日々成長していると強く実感した1年だったと思います。今年は1つの経験をさせていただける環境が現実させていきたいと思っておりまます。

これまでの会社生活で培つたスキルを発揮し新たな課題にチャレンジしつつ、後輩の育成や職場でのコミュニケーション促進など中核となるべき役割を担つてまいります。このように、年々の変化していく状況の中でこそ、自身を律することが重要であると考えます。

私が配属された日立建機は第二の創業という転機に立ち、2027年には社名から日立の文字が消え、ランダムクロス株式会社になります。このような変化していく状況の中でこそ、自身を律することが重要であると考えます。

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。これまでの20年弱の会社生活を無事に勤め続けてこられたのは、職場の同僚や上司をはじめ、同窓会員の皆さまに支えていただいたからだと感謝しております。

これまでの会社生活で培つたスキルを発揮し新たな課題にチャレンジしつつ、後輩の育成や職場でのコミュニケーション促進など中核となるべき役割を担つてまいります。このように、年々の変化していく状況の中でこそ、自身を律することが重要であると考えます。

最後になりますが、同窓会員の皆様にとってご健勝を祈念し、新年の抱負とさせていただきます。

鈴木 祐介
(94卒・建機)

先輩方に助けられ、とても充実した時間を過ごせています。最近では設備に対する理解力も高めることができ作業の幅も広がり、仕事に対するやりがいを実感しています。今後は、より一層設備への理解力を高めスピーディーかつ安全に作業できるよう常に自己改善に励んでいき、また保全関係の資格取得を目標に日々精進していきたいと思います。

最後になりますが、同窓会員の皆様が健康で実りある一年になりますよう祈念し、新年の抱負とさせていただきます。



湯ノ口 翼
(106卒・佐和)

明けましておめでとうございます。
月日が経つのはとても早く、日専
校を卒業してから5年の月日が経ち
ました。これまで無事に会社生活を
送っているのは、同窓会員の皆様は
じめ上司や職場の方々等、多くの皆
様の支えのおかげです。心より御礼
申し上げます。



大塚元太
106卒・下館

来年度の4月からは、職場を離れて、日工専での約1年間の研修に臨みます。この機会を、自分をさらに高めるための挑戦と捉え、知識の習得にとどまらず、実務に直結する力を磨き上げることを目標にします。2026年は、学びを積極的に吸収し、必ず職場に還元できる成果を出す1年にします。

最後になりますが、日工同窓会の皆様のご健康とご活躍をお祈りし、新年の抱負とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



106 藤崎
卒・那
珂 蓮



佐藤 勇心
106 卒・山崎

できる成果を出す1年にします。
最後になりますが、日工同窓会の皆様のご健康とご活躍をお祈りし、新年の抱負とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

新年の抱負ですが、昨今デジタル化の波に押され、DX化の必要性が一層高まっております。その中で自分の価値を發揮できる1年にしたいと考えております。

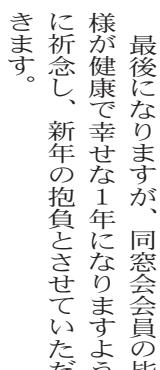


牧野薰
卒馬郡

明けましておめでとうございます。早くも社会人6年目を迎え、これまで以上に成長と挑戦を重ねる一年にしたいと強く思っています。職場では、技能的にも精神的にも多くを学び、成長することができました。これも現在に至るまで、多くの方々に支えていただいたおかげであり、心より感謝申し上げます。

卒業後は昭和电工マテリアルズ（旧日立化成、現レゾナック）に入社し、半導体用途の封止材製造に携わってまいりました。現在はIT担当として製造現場のDX化や業務効率化に取り組んでいます。

入社当初は、日立グループから分離したことに不安を感じていましたが、見事の同僚部隊の力で、皆で協力して乗り越えました。



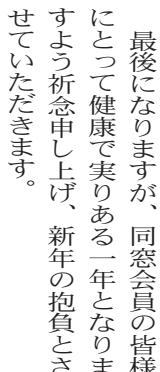
最後になりますが、同窓会員の皆様にとつて健康で実りある一年となりま

一方で、プライベートにも変化がありました。最近、新しい趣味を見つけました。休日の楽しみが広がったことは大き収穫です。新しい趣味のおかげで心に余裕ができ、日々のモチベーションに



106 佐藤
卒・山 勇心

一方で、プライベートにも変化がありました。最近、新しい趣味を見つけ、休日の楽しみが広がったことは大きな収穫です。新しい趣味のおかげで心に余裕ができ、日々のモチベーションに保全員として日々業務に邁進しております。また、組合・文体活動をはじめSuper GTの観戦など、昨年は充実した日々を過ごすことができました。今年はリスキリングが叫ばれる中、



8 例

黄綬褒章を2名が受章

機械システム事業部 製造部

堀川 一巳 (68卒・土浦)
この度、令和7年秋の褒章に際しまして、はからずも黄綬褒章受賞の栄に浴しました。

二「芙蓉の間」にて黄綬褒章の伝達を受け、引き続き皇居へ参内し、宮殿「豊明殿」にて天皇陛下に拝謁お祝いのお言葉を賜りましたことは只々ありがたく感激の極みでございました。

これも偏に事業所幹部の皆様のお力添えと、これまで暖かくご指導くださいました職場の上司、多くの諸先輩の方々や同僚、そして後輩のご協力の賜物であり、心より感謝申し



自慢です。その徹底した基本指導が私の基礎となりました。教育期間に基本を叩きこまれる中、同時に産業機械の溶接作業に携わり各種溶接法（被覆アーク、半自動、TIG、サブマージ、高出力レーザー、YAGレーザー等）、多種材料（鉄、ステンレス、二相ステンレス、インコネル



令和7年度秋の園遊会に出席

令和7年度秋の園遊会に出席
10/28(火)に赤坂御苑にて天皇、皇后両陛下をはじめ皇室の方々にお目にかかった。これは令和6年度現代の名工受章者の中から厚生労働省の推薦で選ばれたものです。

真鍮、高張力鋼等)に挑戦でき、この42年間で、場内作業はもとより国内外(ラオスでの溶接学校立上げ、指導、イランでのポンプ据付けの製缶・溶接、中国現地法人での製缶指導・安全管理等)に従事して参りました。併せて、技能五輪、技能検定モノづくりマイスター、日本溶接協会溶接マイスターとして、他企業、中小企業、各種学校等の多くの関係者と交流を通して技能の大切さをござ指導いたたき、技能伝承、人脈形成に努めきました。良い機会をいただき大変ありがたく感じております。今後も、日工同窓会会員であることを誇りに持ち、自己研鑽に努め、これまでの経験を活かし人材育成、技能伝承に励み、事業所の発展と地域社会へ貢献したいと考えております。志ある日工同窓会の益々の発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして黄綬褒章受章の御札とさせていただきます。

おかけで精神面も鍛えられ、苦しい時の糧となり、40年間の会社生活を乗り越えることができました。深く感謝しております。



(株)日立製作所研究開発グループ 渡邊 誠二 (70卒・日研)

し、2005年に日立研究所へ異動後も、旋盤加工を中心に多種多様な研究開発用の実験装置部品の製作に従事してまいりました。そこで日専校の先輩方の厳しくも温かいご指導に恵まれ、最先端の実験装置を生み出すための高い加工技術・技能とともに、柔軟な発想力に基づいた課題遂行力を学ぶことができました。

今後は、この褒章の名に恥じぬよう自覚と責任を持ち、諸先輩方から受け継いだモノづくりのDNAを後輩たちに伝え、人づくりを通じて会社の発展に貢献できるよう、努力してまいります。今後とも日工同窓会の皆様のご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

菊池元男氏瑞宝单光章を受章

令和7年度秋の叙勲受章により11月4日茨城県庁において伝達式が執り行われました。危険業務従事者として瑞宝単光章を拝受いたしましたが、今年は内閣総理大臣が決定していなかつたため勲章のみの拝受となり勲記は後日となりました。

11月26日には日本消防会館において林総務大臣をお迎えし伝達式が行われ、その後、皇居「豊明殿」において天皇陛下に拝謁を賜り、労いのお言葉をいただき久々に緊張と感激の時間を過ごしました。

受けた後に体調を崩し、退職を余儀なくされました。その後、健康第一なくされました。

と体力増強を図り、日立市の消防

消防においては特別救助隊第一期生として訓練を重ね、各種災害に從



現在は私の好きだった絵画の道に進み、発表の場である日展・東光展・県展等において審査員を務めると共に、後進の育成に当たり現在に至っています。絵画制作を通して感動と感激の喜びを一人でも多くの方に感じていただければとの思いで頑張っています。『人生 懸けるものがある限

事し39年間市民の生命・安全・財産を守るため、微力ながら努めてまいりました。その功績が認められ、この度の叙勲受章に繋がつたものと思います。

令和7年度厚生労働大臣表彰卓越した技能者
「現代の名工」を2名が受賞

(株) 日立ビルシステム水戸事業所
市野沢 雅嘉 (69卒・水戸)
職種: プリント基板組立工

《技能功績の概要》

1

昇降機製品を制御するプリント基板の製作に卓越した技能を有している。産業用製品のプリント基板は耐用年数も長く、電子部品のはんだ付け品質と信頼性を確保するには、高い技術が求められる。これまで数多くの信頼性の高い製作工法を確立し、環境に配慮した再生化技術を推進するなど多岐にわたり活躍し、唯一無二の生産体制を構築してきた。また社外協力会社への技術指導や茨城県の技能検定では首席技能検定委員としても長年尽力し、後進育成にも大きく貢献している。

この度、事業所幹部を始め上司諸先輩ならびに多くの同僚の方々のご指導とご尽力により令和7年度貢献した技能者「現代の名工」厚生労

令和7年度厚生労働大臣表彰卓越した技能者
「現代の名工」を2名が受賞



働大臣表彰を受賞することができましたこと、家族共々心より感謝しております。顧みますと1981年に日専校に入学し、半分厳しく、半分楽しい3年間の寮生活を経験しました。そして卒業と同時に当時の水戸工場・エレ電製課に配属され、これまで40有余年プリント基板組立関係の仕事に従事して参りました。今回の受賞は、この「プリント基板組立工の職種であります。

会社生活の中では、職場の多くの上司、諸先輩方や同僚の方のご指導により、長年培ってきた技能・技術を活用し業務に当たることができました。そして、これまで一緒に仕事に携わったすべての方々が、事業所における製品技術変化に追従し、より良い製品開発のため、真摯に取り組み尽力された技能・技術の成果で

工場・エレ電製譲に西脇さわこわせまで40有余年プリント板組立関係の仕事に従事して参りました。今回の受賞は、この「プリント基板組立工の職種であります。

会社生活の中では、職場の多くの上司、諸先輩方や同僚の方のご指導により、長年培ってきた技能・技術を活用し業務に当たることができました。そして、これまで一緒に仕事をしてくださったすべての方々が、事業所における製品技術変化に追従し、より良い製品開発のため、真摯に取り組み尽力された技能・技術の成果で

あり、その代表として受賞させていただいたのだと思っております。これまでいたいた多くのご指導に厚く感謝申し上げます。また、自己研鑽の機会としまして、国家検定の取得、全社技能競技会への参加と指導技能五輪指導を通して後進の育成に携わることができた事は、私の大きな財産であり、その時多くの知識と技能を学ばせていただく事ができました。技能は基本が大事であり、この基本技能を若い時期に確実に身に付けておく事が必須です。それをさらに磨きながら、変化していく仕事に対し、新たな要素を加えることで様々な仕事に対応できるようになり、経験と共に熟練化、そして高いレベルの技能へ到達して行くのだと考えます。日立の技能人財育成は、この高いレベルに到達させる「技能の伝承」が脈々と引き継がれております。これは製造業の根幹であり、大きな強みであると確信いたします。これからも多くの熟達者が輩出される事を心から願っております。

(7頁の続き)

（株）日立ハイテク那珂地区生産本部

綿引 正則（74卒・那珂）

職種：電子線応用装置組立調整工

『技能功績の概要』

長年にわたる技能の鍛錬により、電子顕微鏡製作における数々レベル

で部品組み合せを行う精密組立に卓越する。また、これまで培った技能・知識を活かし、精密組立方法の確立や自動化設備開発に取り組み生産性の向上に寄与した。後進指導においては、基礎技能の底上げを図るべく技能検定「電子機器組立」の実技指導・学科試験対策講座を開催するなど、多数の資格取得者を輩出してきた。

トもなく、資料探しにも苦労しました。そこで設計者に質問し、教えていただきました。ただ日々が始まりました。ある時、真空系のトラブルで悩んでいた際、設計担当者が凶面を広げ、「ここを見てみると」と説明してくれ、その一言で仕組みが理解でき、問題を解決できることは今でも忘れられません。こうしたやり取りを重ねるうちに電子顕微鏡への理解が深まり、触れることが楽しくなり、作業範囲も広がっていきました。試行錯誤を重ねて知識が積み重なっていく過程は、今振り返っても大きな財産です。今でも電子顕微鏡が好きで、「好きこそもの上手なれ」という言葉を実感しています。

令和7年度「卓越した技能者（現代の名工）」として、厚生労働大臣より表彰を賜りました。この栄誉は、技能を磨く環境を与え、新製品立ち上げに参画する機会をくださった同窓生をはじめ、上司・先輩方のご支援のおかげと心より感謝申し上げます。

電子顕微鏡を初めて知った入社当時は、業務をこなすことに精一杯で、電子線や真空の説明を受けても理解できず、興味もありませんでした。計画通りに作業を進めるに必死で、装置の仕組みを考える余裕はなかったのです。しかし、先輩方の指導のおかげで学ぼうという気持ちが芽生えました。当時はインターネット



令和7年度茨城県技能者表彰 2名が受賞（県知事表彰）

◆配電盤・制御盤・開閉制御機器組立工

五十嵐 朋幸氏
(79卒・水戸)



日専祭支援（日立支部）

11月8日（土）秋晴れの中、日専祭・保護者会が開催された。生徒たちは部活動別にアトラクション終了後の午後3時に体育館に集合した。

生徒たちが一番楽しみにしている大抽選会である。これは日立支部が恒例で実施している生徒に対する支援活動である。以前は、カップラーメン等をテントで激安にて販売していましたが、生徒よりも近隣の方や父兄が大量に購入されてしまうため、現在の大抽選会に変更となつた。賞品はクオカード36本とカツラーメン、スープドリンク等で生徒に大好評であった。

また、技術指導により、技能五輪全国大会や全国アビリンピックの入賞者を輩出するなど、後進の育成に尽力した。

◆汎用金属工作機械工

昇降機製品の電気機械組立に長年従事。難易度の高い結束製作作業の作業改善や、海外向け制御盤の作業平準化等を実現し、多様性を重視した作業改善の効率化を図るなど、国内外の制御盤組立作業においても広く貢献した。



根本 和博氏
(79卒・水戸)



抽選会となるよう日立支部と検討する。

日専祭で生徒へ寄贈（日高支部）

当日は、谷口支部長から、生徒会長後藤さんへ段ボール16箱、150個以上のカップラーメンを寄贈した。受け取った後藤さんの笑顔が印象的であった。

OBとして生徒に何ができるだろうか？日高支部は、役員会で生徒全員への差し入れを実施することを決めた。

当日は、谷口支部長から、生徒会長後藤さんへ段ボール16箱、150個以上のカップラーメンを寄贈した。受け取った後藤さんの笑顔が印象的であった。



当日販売した
どら焼きの焼き印
の金型2個を同窓会で寄贈しました。

（事務局）



女性会員研修会が日専校で開催される！

2025年10月25日(土)、日専校にて同窓会と学校協賛による女性会員研修会を開催しました。

当日は女性会員12名、在校生(2年生)9名、学校と本部役員13名が参加。

集合写真の後に今

泉会長、鈴木副会長、松浦代表副会長から挨拶をいただき、中

でも今泉会長からは、
①モノづくりの強化

②外国人の受入③キャリアパスを掲げ、

さらには女子生徒の割合を3割にするこ

とが目標との力強いお言葉をいただきま

した。その後、参加

者の自己紹介と事務局連絡、グループ討

議会実施要領説明が
あり、4グループに分かれて、各テーマにより討議開始。

〔テーマ内容〕

①仕事での喜び
②自信につながった
③女性生徒を増やす
④先輩に聞きたいこ

には
経験やきつかけ
女性生徒を増やす
と
には

(10
頁へ
続く)

No	テーマ	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
1	仕事での喜び	技能五輪では人間的に成長できた 担当の仕事が成功したとき	溶接が思い通りできたとき 効率よく仕事が回せて会社からの期待に応えられた時	いろんなことを覚えられるとき(多能工として業務) ボーナスや給料をもらつた時 改善した設備が作業者から評価されたとき それぞれの職場で必要な資格を取得できたこと	仕事の内容を教える立場になり自分の成長を感じた オペレータを担当しており他職場から頼りにされている 改造作業で自分を理解して作業を任せられたとき
2	自信に繋がった経験やきつかけ	新しい仕事はチャレンジして行くとよい 図面が読めないと仕事にならない(製図授業は重要)	職場の人とのコミュニケーションは学校で学んだことを活かせた 競争心をもって取り組みが認められた時	自分の実績が上司に評価されたとき たくさん任されて色々なことを経験して自信に繋がった	2年目で社内競技会に参加し銀賞を取ったとき 実習で上司に厳しくされたが発表時に評価された
3	女子生徒を増やすには	リボン・ネクタイは選択制にしてほしい 入寮時は新入生同士にしてほしい 女性教員を増やす(特に実習系) 受験前に寮内の写真等情報が欲しかった 内装を明るい色合いにしてほしい	男性基準の体育授業を見直す(特にマラソン) 男子との共用場所である食堂が使いづらい	日立への就職や学校としての取り組みが大事 オープンスクールでの説明・対応が大事	日専校の知名度を上げる(科技高は知っている)
4	先輩に聞きたいこと	ネイルはしても良いのか⇒業務・上司の判断による。ピアスも業務上問題の起きないレベル 長期休暇はどのくらい休める ⇒10日前後、リフレッシュ休暇もある	〈女子で大変なこと〉体力、重いものを持つとき、過剰な気遣い、保護具のサイズがない、同性の人間関係等 〈職場の出会い〉職場によっては、年齢の近い方が少ない 〈女性が思うこと〉生理休暇を特別休暇等に改名を希望する 産後職場に戻れるかが不安	会社に馴染めるか不安 ⇒全員と仲良くなる必要はない。自分からの会話が大事 上司とどう話したらよいかわからない ⇒とにかく挨拶は大事、伝えたいことがあれば伝える	髪型。髪色の変更はいつ頃から ⇒入社後に実施



左より山田指導員、片野選手、塩澤指導員

2025年9月30日（火）から10月2日（木）にかけて第48回技能五輪国際大会CNC旋盤職種日本代表選手選考会が三重県で開催され、昨年の技能五輪全国大会旋盤職種入賞者と別枠予選会で出場権を付与された4名で競技が行われ、片野諒人選手（笠戸事業所）が1位となり来年



中国上海で開催される第48回技能五輪国際大会への出場を決めました。
片野選手の健闘を祈る。



笠戸事業所 片野諒人選手（108卒） 「CNC旋盤職種」国際大会出場決定！

2025 CN盤 選考会最終成績				
No	会社名	氏名	総合得点	順位
①	(株)日立製作所笠戸事業所	片野 諒人	227.613	1
②	トヨタ自動車(株)		205.81	2
③	トヨタ自動車(株)		194.608	3
④	(株)デンソー		92.652	4



11月15日（土）ホテルテラスザスクエア日立において在会40年（71卒）同期会を開催しました。10年前に開催した在会30年同期会では、卒業生121名中69名が出席してくれました。その後、日立グループの事業再編などによって支部数が減少した影

響などから、この10年間で会員は82名から42名へと半減してしまいました。今回は幹事の案内が遅かつたせいもあり、目標としていた50名を大きく下回りましたが、都合をつけて集まってくれた39名（うち10名は退職者）の出席者には大変感謝しています。記念撮影の後、前代表副会長の鈴木祐一君による日工同窓会活動報告を含めた乾杯の挨拶で幕を開けました。クラス毎に6テーブルに分かれた同期生は、仕事や家庭、健康状態などの近況報告の他、日専校在学中の寮生活で大いに盛り上がり、気が付けばアツという間に2時間が経過してしまいました。名残惜しい中、全員が輪になつて肩を組み合い、寮歌と校歌を大合唱し、工師として活躍している甲高次夫君の万歳三唱でお開きになりました。

最後に、幹事から約2年後に迎える還暦を同期生同士で祝い合ったため、2028年3月に同期会を開催することをお知らせしました。母校日専校の見学会なども計画していますので、多くの同期生の皆さんの参加をよろしくお願いします。

記：細金敦

在会40年同期会（71卒）開催される！

11月15日（土）同窓会ボランティア活動にOGとして初めて参加しました。

学生の時は違い、OBの方々や生徒の皆さんとのコミュニケーションはとても楽しく、カメラで皆さんを笑顔を撮影したり、お昼のカレーうどんを協力して作ったり、後輩とも交流できたりと、とても有意義な時間になりました。

調理担当の芳賀さん
筆者撮影、カメラワークセンスも抜群

ボランティア活動に参加して

日専校歴史写真【22】「戦前戦中の八紘寮の生活・自習風景」1940(昭和15)年 1944(昭和19)年

● 1940 (昭和15) 年
徒弟時代の芝内から成沢に移転してからの戦前戦中の寮生活は大変厳しく、学年が一年違うと軍隊気風の指導が行なわれていた。下級生は上級生には絶対服従で、緊張の連続であった。特に挨拶、言葉遣い、態度などの行儀には気配りが必要であり、時に上級生からの指導が行われた。一方寮では南京虫に喰われ、手足が赤く腫れあがり、悩みのひとつであった。しかし、寮で体験したいずれも、後の軍隊生活に非常に役立ったとの語り草になっている。1年生は不満の時代、2年生は得意の時代、3年生は感謝の時代といわれた。

1955 (昭和30) 年発行の「35周年記念日工同窓会報」の中で、児玉寛一氏第2代校長を囲んで、学校創立当時を知る卒業生が座談会を行っている。その中で1940(昭和15)年に芝内から成沢に移転した際の新校舎、新寮の建設の苦心談をするかで色々考えた。芝内の指導が難しくなるので、北側の廊下を広くして共通の自習室として、その一端に会監室を設けた



1944(昭和19)年 6寮廊下での自習

● 1944 (昭和19) 年
追試制度がなく、成績が悪いと落第になるため、学校でも寮でもよく勉強した。



1940(昭和15)年 八紘寮廊下での自習



後年の夏の夜の自習風景

※本連載では日工同窓会報(記念会報)含むから引用する場合があります



1944(昭和19)年 6寮廊下での自習



11月8日(土) ホテルテラスザスクエア日立にて76卒の同期会が開催された。
企画実行いただいた本部役員諸氏に感謝。
106名が卒業した中、同窓会を離れた者も含めて13名の参加であった。少し寂しい気もするが、同期会のきっかけになると言っている総会の際に「在会30年表彰」に合わせて実施される同

期会をコロナ禍により実施できなかつたことを踏まえるとよく集まつた方だろ。一人、また一人と会場に集まる参加者の顔には、35年という月日が刻まれる。年相応ではあつたが、変わらぬ面影に在学当時の思い出が蘇ってきた。

宴は黒澤(旧姓大森)勝君による乾杯の音頭(その場でじやんけん)で決定でスタート。初めこそぎこちなさがあつたものの、程なくしてそれもどこへやら、思い出話や近況報告など、会話は尽きることがなかつた。皆、家庭に仕事にいろいろと大変な年齢のはずであるが、愚痴や苦労話といったネガティブな話題ではなく、ポジティブな話題に終始したことが印象的であった。最後に寮歌を合唱、再会を誓いながら南雲剛君の締めの音頭(こちらもじやんけん)で終宴となつた。決議で終宴となつた。

なお、次回の同期会を計画するにあたり76卒のグループLINEを開設したので、同期各位への拡散をお願いする。

記..木村昇

在会35年同期会(76卒)開催される!

（13頁の続き）

1年生が安全体感教育受講

10月から11月にわたり、日立事業所教育訓練センター内の安全体感センターにおいて、1年生75名全員が6グループに分かれて安全体感教育を受講した。研修では、安全の概要説明および災害事例の紹介に続き、生徒にとって初めてとなる体感装置・VRを用いて危険体感を実施した。これら的内容は、学校の授業や実習では得難い災害の危険性を実感させるものであり、生徒の安全意識の高揚および危険感受性の向上に寄与した。

安全体感講習会を受講して、日頃か

安全体感教育



10月から11月にわたり、日立事業所教育訓練センター内の安全体感センターにおいて、1年生75名全員が6グループに分かれて安全体感教育を受講した。研修では、安全の概要説明および災害事例の紹介に続き、生徒にとって初めてとなる体感装置・VRを用いて危険体感を実施した。これらの内容は、学校の授業や実習では得難い災害の危険性を実感させるものであり、生徒の安全意識の高揚および危険感受性の向上に寄与した。

安全体感講習会を受講して、日頃か

1年1組 芳賀 聖華

年度生の入学試験を県内2箇所（本校
つくば市）、青森県（青森市）、東京都
(大田区) 山口県（下松市）の5会場
で実施した。近年、少子化の影響が顕著に現れ、近隣の県立高校では定員割
れする学校も多く、受験生の確保に苦
労している。日専校では優秀な人財を
確保すべく、今年度も各事業所にご協
力いただき従業員向けの説明会、小・
中学生を対象とした出前授業を実施す
るなどPR活動を展開してきた。また
夏休み期間に下松市、青森市、弘前市
八戸市で学校説明会を開催、更にメ
ディア（青森放送、青森朝日放送）を
活用した広報活動も展開してきたが受

2026年度入学試験 県外を含む5会場で

はならない」という前提に立った意識の高さを学びました。また具体的な灾害事例を、身をもつて体感することで普段の生活や作業環境の中にも危険が潜んでいることを実感し、安全意識を高めることができました。今回の受講で得たことを今後の実習や将来の業務に活かし、安全を最優先とする行動を徹底していきたいと思います。

12月11日、本年度2回目となる避難訓練を実施した。前回は授業中の災害発生を想定した校舎・実習場からの避難であったが、今回は生活の場である寮からの避難に焦点をあてた。本訓練の目的は、緊急事態において教職員および生徒が安全かつ迅速に避難できるよう備えを万全にする事にある。今回は、昼食時間帯に寮の厨房から火災が発生し、寮食堂内に煙が流入してパニックに陥るというシナリオを設定した。非常ベルの鳴動と避難指示の放送を受け、参加者は即座に避難を開始し

察避難訓練を実施



睿避難訓練



耐寒ランニング

第56回日専校マラソン大会
例年、マラソン大会に備え、事前に約1週間、平日の朝の授業前に、学校グラウンドで「耐寒ランニング」を実施している。今年度も12月12日から体育委員のリードにより、全校生徒がラジオ体操・日専校体操の後、グラウンド周辺を走つた。その他、体育の授業や部活動でも、この時期はランニングの練習を行つていた。そして、「第56回日専校マラソン大会」を12月19日、晴天の下、ひたち海浜公園にて開催した。生徒たちは元気に園内を駆け抜けた。

全員が完走した。男子個人の部は2年電気科1組の後藤洸平さん、女子個人の部は2年電気科1組の根元優衣奈さんが優勝となつた。また、クラス対抗は2年電気科1組、部活対抗はバスケットボール部が、それぞれ優勝した。生徒たちにはクラスの枠を超えて応援する姿や健闘を称え合う姿があり、心温まる気持ちで終えることができた。

【大会結果】

● 部活動対抗 ①バスケットボール
部 ②陸上長距離部 ③サッカーチーム
● クラス対抗 ①2年電気科1組
②2年電気科2組 ③2年機械科
● 男子個人【10キロ】 ①後藤洸平（2年電気科1組） ②黒澤柚稀（2年電気科2組） ③渡部眞生（2年電気科1組）



マラソン大会(国営ひたち海浜公園)

(13頁の続き)

日々実行されていることを知ることが、
日々専校で学び実践している安全行動
が実際の工場においても重要視され、

駿生の確保に苦戦している。今後も日専校の魅力を幅広く発信し、生徒募集活動を展開、受験生の増員を期待している。同窓会員の皆様には、引き続きお知り合いの方々に日専校の紹介をお

特段のトラブルもなく集結を完了した
また、日立消防署の職員協力のもと、
参加者全員が水消火器の取扱訓練を受けた。
最後に同署職員より、有事の際
の心構えについて訓話を頂き終了した
今後も継続的に訓練を計画し、防災意識の向上に努めていく。

（13頁の続き）

新年のご挨拶

副会長・本部会員運営委員会主査

上野 栄一 (54卒)

本部会

A black and white portrait of a man with a high forehead, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a dark tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is plain and light-colored.

年に皆様にとりまして どんな希望
に満ちた年でしようか。

令和7年の活動を振り返りますと
まずは目玉の行事として第51回「わ
が宿の集い」を9月に同窓会館で開
催致しました。

今回は、送迎で同窓会館にご来場いただいた奥様、お嬢様にもご参加いただき楽しい宴となりました。また、参加者全員の方に自己紹介及び近況報告をしていただき懇親を深め

今回の「わが宿の集い」では、関正治氏（43卒）から抽選会の賞品として高価なノート型パソコンの無償提供があり、抽選の結果、海野浩安氏（70卒）が見事当選しました。当選した海野氏は大喜びで皆さんから万雷の拍手をいただきました。



本部会員の皆様に幸多き年であります事を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



周辺を鎌で手際よく刈る人やネット立ち上げ部分を自前の剪定鋏にて刈る人、脚



「溶接審習棟」前でのカレーうどん昼食会



初の女性会員参加



「刈山卦」三鏡士



木活躍のリヤカー部隊

第7回ボランティア活動行われる

2025年11月15日（土）、恒例となつたボランティア活動の第7回
目が実施されました。

立にてネット上方の薦をとる人、そして卓球部は刈った草を集め運ぶ等役割分担して効率よく作業を行います。

今回と同じく日専校グランド周辺の桜の手入れ、草刈りを行う予定です。作業範囲が広くなつておりますが、正会員の皆様の参加もお願い致します。

企画小主査 小室道男(59卒)

その後参加者全員による自己紹介を実施し、生徒からの今後の抱負に對して同窓会先輩からアドバイスする等、有意義なひとときを過ごし解

次回（第8回）は5月23日（土）、

懇親会開催



2025年10月4日（土）、昨年に引き続き懇親会を常陸太田市「割烹寿々木」で開催した。参加者は昨年同様10人で計画通り開催した。今回は、地区長が石田正喜氏（52卒）から甲賀勇雄・黒羽満氏（58卒）の二人に交代し、それぞれに挨拶いただき、前地区長石田氏の乾杯の音頭で懇親会がスタートした。

和気あいあいとした雰囲気で盛り上がり滑舌も良好になつたところで各自の近況報告をいただいた。皆さんの共通点は趣味の旅行や健康管理と持病の話が多かつた。最後は、来年の再会を祈念し、最年少の橋本英憲氏（67卒）の締めで散会した。

甲賀 勇雄（58卒）



2025年11月7日（金）、日立北部地区第8回懇親会を実施した。2023年11月11日に第7回懇親会を実施、2024年は開催できなかつたが、今年は開催できて幹事一同ほつとしている。参加人員は9人。前回より1人増えたのは良かった。

7月19日（土）に第1回幹事会を行い、鵜の岬で懇親会を実施することを決定した。

会員への連絡は、同窓会本部事務局に案内と出欠連絡ハガキを作成していただき、メールでの案内やメールのない方には地区幹事が配達した。結果、75人の会員から欠席46人、出席11人、連絡なし18人の応答であった。（最終的には出席9人）

10月25日（土）に第2回幹事会を開催

2025年11月7日（土）に第1回幹事会を開催

第8回懇親会を開催！

行い、懇親会の式次第、進行担当などを決定した。

会場は日立市十王町茨城県立国民宿舎「鵜の岬」、「鵜の岬」の計らいで送迎バスを運行していただき、直接参加も含め、9人が集合した。

進行の資料や名札を配布し座席を決め、会はスタートした。

開会の挨拶を稲葉栄次氏（48卒、前回の地区長で同窓会本部でも活動していたが、2021年地区長を退任）が実施、「久しぶりの再会を喜び、鵜の岬で懇親会を実施することを決定した。

会員への連絡は、同窓会本部事務局に案内と出欠連絡ハガキを作成していただき、メールでの案内やメールのない方には地区幹事が配達した。結果、75人の会員から欠席46人、出席11人、連絡なし18人の応答であった。（最終的には出席9人）

10月25日（土）に第2回幹事会を開催

2025年11月7日（土）に第1回幹事会を開催

第9回懇親会を開催！

2025年11月8日（土）日立市神峰町のレストラン「しいな」で日立中央地区の第9回懇親会を開催した。

参加者は10人。当初は12人の参加予定であったが、会員は全て高齢者。健康上の理由で開催日直前に2人が欠席となり、10人での開催となつた。

初めに集合写真を撮り、13時から杉山貞男地区長（51卒）の挨拶、続いて昨年から今年にかけて亡くなられた 中島正信氏（32卒）、鈴木周郎氏（32卒）、木村正孝氏（47卒）のご冥福を祈り黙とうを捧げ、筆者の大内（52卒）の進行で開会した。

乾杯の音頭は本日の参加者の中でも最高齢の倉持勇四郎氏（43卒）、年齢には見えない若々しさで挨拶、発声をしていただいた。

2025年11月8日（土）に第1回幹事会を開催

次に荻野常美氏（53卒）より本部の活動状況などの報告を受け、少々自己紹介と近況報告。

舌が滑らかになつてきためか、中々話が終わらない人や、近況報告というよりは、現役時代の思い出を話される人など、色々な近況報告があつて楽しい懇親会となつた。

また、昨年に統いて関正治氏（43卒）よりパソコンの提供があり、本來ならば抽選で受領者を決めるところ今回は特別に無抽選とした。といふことで杉山地区長が現在パソコンをお持ちでないというので、同窓会の活動にこのパソコンを活用していくことを条件に、無抽選で杉山地区長にお渡しすることになった。

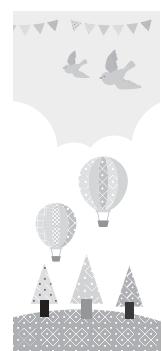
こうして楽しく過ごした懇親会を終了したが、年々減少する会員数に、この先どのように対処すればよいか悩ましいところである。

また会場のレストラン「しいな」も来年は閉店するということから、会場探しの必要もあり、これもまた悩むところであるが、何とかして来年以降も続けて、皆さんに会つていきたいと考えている。



2025年11月8日（土）に第1回幹事会を開催

大内 正典（52卒）



日立中部I地区

20回目の懇親会を開催

「地区同窓会のあり方」を

今後の課題に

2025年11月28日(金)、節目

となる第20回中部I地区懇親会が、神代光昭氏(48卒)の経営する池の川末廣にて開催された。

参加者は、来賓の地区活動小委員会主査の長峰省三氏(58卒)を含め13人。前回とほぼ同数だが、盛り上がりがつた懇親会となつた。

地区長の岡部健氏(50卒)の挨拶

の中で、「参加者の減少でもこの会は毎年開催し、楽しい会にしたい」と力強く述べられた。

来賓の長峰氏は学校、同窓会の状況を報告された。

最年

長の米

野氏(40

卒)に

による乾

杯の音

頭で宴

に入つ

た。

参加

者全員

の近況

報告で

小島喜代一(48卒)

は、奥



さんの負担を減らすために家事に励んでいるなど従来では考えられない話題も出た。

余興は、おなじみの安(41卒)・

神代(48卒)・榎原(53卒)「池の川

トリオ」のハーモニカ伴奏で校歌、

吉田メロディー等を全員で歌つた。

本会の名物となり、皆さんの楽しみ

の時間である。

店内に飾られた竹灯り(竹筒の外

周に風景や人物などの透かし彫りを

施し、内部に灯りをともす)があ

る先輩の目に留まり話題に。竹の選

び方、彫刻の仕方の苦労など神代氏

の話があつた。

定番の寮歌、そして関氏(52卒)

の三本締めで終了した。

今回メール所有者31人はメール、

その他は往復はがきで出欠を確認し

経費を節減した。

課題は、

①懇親会の出席者が少ない。

②若い会員の出席者が少ない。

③場所の選定をどうするか?

である。

中部I地区的出席者はコロナ以降

10数人。初回は、46人で最低でも34

人いた。複数の地区との合同懇親

会。飲み会以外の懇親会を考える

など解決策は必ずあるはずだ。

52回卒

「喜寿」を祝い同期会を開催

卒業して59年目の秋を迎えた大

安吉日の2025年10月23日(木)、

52回卒「喜寿祝い」を23人の参加者

にて久慈サンピア日立で実施した。

懇親会開始は18時を予定したが遠

方からの人、一風呂浴びてくつろぐ

人を考慮し15時に受付を開始した。

瞬く間に控室はアルコールの匂い

を考慮し15時に受付を開始した。

店内に飾られた竹灯り(竹筒の外

周に風景や人物などの透かし彫りを

施し、内部に灯りをともす)があ

る先輩の目に留まり話題に。竹の選

び方、彫刻の仕方の苦労など神代氏

の話があつた。

定番の寮歌、そして関氏(52卒)

の三本締めで終了した。

今回メール所有者31人はメール、

その他は往復はがきで出欠を確認し

経費を節減した。

課題は、

①懇親会の出席者が少ない。

②若い会員の出席者が少ない。

③場所の選定をどうするか?

である。

55回卒

11回目の同期会を開催!

2025年10月21日(火)ホテル

テラスザスクエア日立にて11回目の同期会を開催した。

2012年12月の初回から4回までは当ホテルで、5回から6回は那珂市那珂健康センターで、7回から10回は「鵜の岬」で行つてきましたが、

昨年皆さんの意見をお聞きし、日帰りでも良いのではとの意見があり、

ジックが流れる中、懇親会がスタートした。

醉いの回らぬ前に?各人の近況報告を持ち

時間を大幅に超えて

行つた後、自由懇親が

21時まで続いた。

紙面化出来ない思い出も含めて楽しい時間

を過ごした締めは、つくば市からの参加の鈴木忠氏が力強く言い、二

次会の幹事部屋に移動。

忠氏が力強く言い、二

次会の幹事部屋に移動。

更に思い出話、これ

から的人生と際限無く

続いたが、翌日の体力

も考え、お決まりの次

回をどうするかの話題

になり、確約無しの米

寿祝いを行う事を決め、

24日にならない所でお

開きとした。

(石田正喜)



忠氏が力強く言い、二
次会の幹事部屋に移動。
更に思い出話、これ
から的人生と際限無く
続いたが、翌日の体力
も考え、お決まりの次
回をどうするかの話題
になり、確約無しの米
寿祝いを行う事を決め、
24日にならない所でお
開きとした。

司会進行は、木村君が担当。各自に近況報告をお願いし、健康維持に務め励んでいた人、農園作業で多忙

(18頁へ続く)

(17頁の続き)

な生活をしている人や孫の面倒をしている人、趣味のボウリングやバンド、ゴルフ等々日々自適の生活を送っている人などが紹介された。

学生時代の面影が多少ある人、全く面影が思い出せない人もいたが、時間とともに学生時代に思いを寄せ、親交を暖めお互いの絆を深めることができた。

2時間の予定時間はあつという間に経過して、恒例の校歌・寮歌齊唱



今回病気療養等で欠席された方においては、治療・療養回復に励み、次回は参加出来ることに期待したい



は梶山君の指揮で行い、最後の締めは三連符の効いた元気な声で「フレー、フレー、55回生」で締めくくり、次回12回目の再会を約束し散会した。

11回目の同期会を開催！

59
回卒

（月）に茨城県立国民宿舎「鶴の岬」で同期会「古希祝い」を開催した。59回卒の同期会は、5月開催の屋形舟の時に参加できなかつた会員の為に、もう一度集集らうと約束して予約がとり易く料金が安くなる日曜日で開催した。今回で第8回目を迎えた。当初32人の予約があつたが前回より2人多い29人の参加であつた。

当日は15時のチエックイン40分前から参加者が集まり、受付を手伝う会員や各部屋にウエルカムドリンクを用意して飲み始める会員もいた。18時予定の宴は、宿泊客によるエレベータ待ちの渋滞があり、古希祝は遅れてスタートとなつた。から始まつた。先ず、「鶴の岬」提供の記念撮影

前日の土曜日に出発したとLINEで連絡があり、慌てて日程の間違いを電話にて指摘した事や、場所を間違えて日帰り温泉「鶴来来の湯」に行つた人がいた等のハプニングが有つたことが、まず紹介された。

今回は白庭君が前回の屋形船の写真を拡大コピーして会場に張り出し、自分の写真を見つけては当時の思い出に花をさかせ、最後に寮歌・校歌を齊唱した。

その後、二次会部屋にてそれぞれ健康問題やら仕事や趣味のことから朝まで話が尽きることがなかつた。

翌日は、寝不足で眼を擦りながらホテル名物の屋上露天風呂で、滅多に見る事が出来ない水平線から朝日が昇る様子を見て感動した。

その後、朝食を済ませ、次回は来年開催とする意見や格安温泉利用等を考慮し、連絡を取り合ふ事として散会した。

(小室道男)

入口付近に田工同窓会などが寄贈したブロンズ像があり、国民栄誉賞等も展示していて、吉田正の全てを知ることができる。

名譽館長には吉田喜代子夫人、続いて門下生の長男ともいえる橋幸夫氏が就き、貴重なお話等をいただいた。その橋幸夫さんも9月4日に亡くなられた。

吉永小百合、三田明等に加え、吉田メロディーを継承する若き歌手により、「吉田正」は永遠に続く。

吉田正の出身地、日立市の神峰公園頂上に吉田正音楽記念館がある。既に見学された方もおられると思うが、ぜひご覧いただきたい。以前は年中無休だったが、現在は月曜日が休館なので注意が必要だ。詳しくはホームページを。

せか力強さ・タイナミックさが伝わらない。こう思うのは私だけだろうか。ところで、「吉田正」大先輩の正しい氏は土(サムライ)に口ではなく、土(ツチ)に口である。名前の正しい表記は難しい。

「こだわり人生」 第9回
小島 喜代一（48卒）

小島 喜代一（48卒）

名譽館長には吉田喜代子夫人、続いて門下生の長男ともいえる橋幸夫氏が就き、貴重なお話等をいただいた。その橋幸夫さんも9月4日に亡くなられた。

吉永小百合、三田明等に加え、吉田メロディーを継承する若き歌手により、「吉田正」は永遠に続く。

67期「日工専研修」合格者

◎電気・電子コース

清水
日尚氏
(107卒・那珂)

◎機械コース

鈴木
理久氏
(105卒・佐和)藤田
羅生氏
(107卒・佐和)田中
泰雅氏
(107卒・佐和)藤崎
齋藤
恭嗣氏
(106卒・那珂)齋藤
建機
(106卒・那珂)鈴木
理久氏
(105卒・佐和)清水
日尚氏
(107卒・那珂)

表彰

◎管理コース

前田
孝亮氏
(108卒・建機)鈴木
悠雅氏
(108卒・佐和)根本
和博氏
(79卒・水戸)五十嵐
朋幸氏
(79卒・水戸)綿引
正則氏
(74卒・那珂)

◎厚生労働大臣表彰(現代の名工)

市野沢
雅嘉氏
(69卒・水戸)菊池
元男氏
(53卒・本部会員)渡邊
誠二氏
(70卒・日研)堀川
一巳氏
(68卒・土浦)◎技能検定永年功労者・
協会長感謝状林
涼平氏
(97卒・那珂)小野瀬修一郎氏
(82卒・佐和)

◎電子機器組立

藤澤
則彦氏
(75卒・佐和)

◎機械加工

坂場
賢宏氏
(82卒・那珂)

◎機械加工

小野瀬修一郎氏
(82卒・佐和)◆前号47号で2か所の誤りがありました。お詫び訂正いたします。
・2頁2段Aグループ写真のキヤブ
・(正)大平悟氏(74卒・土浦北)
・(誤)大平英樹氏(76卒・建機)
・(正)神磯の朝
(誤)上磯の朝

お詫び訂正

会員の消息

△定年退職
武藤
昌義氏(69卒・山崎)
石井
公彦氏(69卒・日立)
小金
克巳氏(69卒・日立)
塚田
宏氏(69卒・佐和)
天野
淳氏(69卒・旭)
黒柳
次夫氏(69卒・本部)
25 25 25 25 25 25 25 25
11 11 11 11 11 11 11 10
30 30 30 30 30 30 30 30△電子機器組立
三上
清弘氏(73卒・佐和)
原田
和彦氏(79卒・水戸)
齋藤
美次氏(80卒・那珂)

▼日専校では2026年4月に10名の女子を

含む69名の新入生を迎

えることになった。毎年、日専校の職員が東北から九州の中学校800校以上を訪問し、学校の紹介や入学試験の案内を実施しているが、なかなか入試志願者の増加に繋がらない。生徒に聞くと、日専校を知るきっかけは、残念ながら中学校の先生からはほとんどなく、家族・親戚・先輩というケースが多かった。

▼会員の皆さんのお子様を持つ方がいらっしゃれば、ぜひ日専校をご紹介いただき、多くの生徒に受験してほしい。(細)

2026年は60年に一度の「丙午(ひのえうま)」の年で、「丙」は太陽の光を「午」は真夏の火を意味し、火のエネルギーが重なり情熱や行動力が高まるパワフルな年とされています。新しい挑戦やあきらめかけていたことに取り組むことで、大きな成果につながる可能性がある年でもあるようなので、「では、早速!」と思ったが、さて何を? 同窓会にとても躍進の年となるよう、まずはじっくりと落ち着いて考えてみるといふところ始めてみたいと思う。



技能五輪競技風景

(課題に取組む選手達)

フライス盤

近内 悠(110卒)日立ハイテク

フライス盤

副島 蓮(109卒)日立ハイテク

プラスチック金型

奥田 晶斗(110卒)Astemo(厚木)

プラスチック金型

北條 陽(109卒)日立Astemo(厚木)

プラスチック金型

椎名 慧音(110卒)日立GLS(多賀)

プラスチック金型

三代 健人(109卒)日立GLS(多賀)

工場電気設備

田中 秀貴(109卒)社会(大みか)

電子機器組立て

横山 祐聖(109卒)鉄道(水戸)

電子機器組立て

小口 心穏(109卒)HBS(水戸)

精密機器組立て

栗原 佳奈(110卒)Astemo(佐和)

精密機器組立て

軽部 祐太(109卒)日立Astemo(福島)

工場電気設備

猪口 健太(110卒)社会(大みか)

電子機器組立て

海老沼 豪乙(110卒)HBS(水戸)

旋盤

丸山 陽(109卒)鉄道(笠戸)

旋盤

後藤 宙那(109卒)日立ハイテク

旋盤

関根 悠馬(109卒)日立イプ(土浦)

旋盤

松岡 駿輝(108卒)日立ハイテク

構造物鉄工

伊藤 光希(110卒)日立産機(勝田)

構造物鉄工

飯泉 大空(110卒)原子力(日立)

構造物鉄工

谷田部 寿崇(109卒)原子力(日立)

メカトロニクス

神白 大晴(109卒)日立GLS(多賀)

旋盤

山中 和奏(110卒)日立イプ(土浦)

電気溶接

佐藤 琉(109卒)
原子力(日立)

メカトロニクス

左: 福谷 聰太(110卒)日立GLS(多賀)
右: 役田 朔弥(110卒)日立GLS(多賀)

メカトロニクス

左: 松岡 恵良(109卒)日立ハイテク
右: 鶴川 生(109卒)日立ハイテク

メカトロニクス

左: 川部 直生(108卒)日立ハイテク
右: 大野 虎太朗(108卒)HMS

電気溶接

大内 拓海(110卒)
原子力(日立)

電気溶接

黒田 大貴(109卒)鉄道(笠戸)

電気溶接

大内 雄斗(108卒)HBS(水戸)

電気溶接

佐藤 拳(108卒)鉄道(水戸)

電気溶接

大内 拓海(110卒)
原子力(日立)

電気溶接

松井 駿輝(110卒)日立イプ(土浦)

電気溶接

益山 桧(110卒)鉄道(笠戸)

電気溶接

大曾根 陸(109卒)日立イプ(土浦)

電気溶接

中條 大吉(109卒)HBS(水戸)